

# くりを進めています

問い合わせ／危機管理課（内線2213）

市民の皆さんが安全・安心に暮らすことができるように、今年度から順次、防災関連事業を計画しています。

## ■ 新しい水害ハザードマップの作成

避難所を表示するなど、より見やすい形に更新します。また、市ホームページ上でも閲覧できる仕組みを構築します



広報かがやき9月号と共に全戸配布

## ■ 戸別受信機（防災ラジオ）の整備【令和3年度】

屋内でも防災行政無線を聞くことができるように、戸別受信機（防災ラジオ）を整備します



希望者に有償での貸与を検討中

## ■ 元荒川の<sup>いっすい</sup>溢水対策

県による元荒川の溢水対策工事に伴い、市では、箕田・赤見台雨水ポンプ場から元荒川までの都市下水路の高上げ工事を実施します



現在、進められている元荒川の溢水対策工事

## ■ 総合防災訓練の内容を変更

洪水の発生を想定して、実際の避難行動の手順に沿った避難所開設訓練等を実施します



今年度は11月29日（日）に実施予定

## ■ 鴻巣市国土強靱化地域計画を策定

あらゆる大規模自然災害を想定し、市民の皆さんの生命・財産を守り致命的な被害を負わない「強さ」と迅速な復旧・復興ができる「しなやかさ」を持った地域社会を実現するための計画を今年度に策定します

## 災害時応援協定の締結を進めています

本市では、大規模災害に備え、県、近隣市をはじめとする自治体と7つの相互応援協定を、他の公的機関や民間事業者、団体等と42の支援協定を締結しています。（6月末現在）

締結状況は市ホームページで公開しています。





## 避難所の設備・機能を強化

- 地震と水害の避難所を分けて考え、水害時の避難所・緊急避難場所を増設します
- 一部の指定避難所に災害用マンホールトイレ、すべての指定避難所に太陽光パネル付き照明灯（非常用コンセント付）を設置します
- 災害時にそのまま飲める液体ミルクと使い捨て哺乳瓶を備蓄します
- 避難所の感染症対策のためマスクと消毒液、非接触型体温計、ワンタッチパーテーション等をすべての指定避難所に配備します



## 地域防災力の向上

### ■（仮称）防災備蓄センターを建設【令和3年度】

避難所の備蓄のほかに、首都直下型大地震などの大規模災害に備えて、備蓄物資をより充実させるために市役所敷地内に整備します

### ■ 自主防災組織を支援

6月末現在、本市の自主防災組織率は63.1%で県平均90.9%と比較すると低い状況です

- 自主防災組織活動補助金の交付期限を廃止し、自主防災組織の運営を支援します
- 自主防災組織が防災活動のマニュアルを作成できるよう、ガイドラインを作成します

### ■ 消防団に簡易無線機を整備

災害時に災害対策本部と消防団の情報伝達機能を向上させるため、デジタル簡易無線機を導入します



## 避難時の新型コロナウイルス感染症対策

災害時は命を守るために避難が必要ですが、避難所では密集が予想されるため、感染症対策が必要となります。

### ■ 分散避難

令和元年東日本台風の際にも、自宅の2階、親戚や友人の家、車で安全な場所へ待避するなど避難所以外へ避難された方が多くいました。このような避難所以外へ避難することは、感染リスクを下げるために有効です。

### ■ 避難所での感染症対策

避難する際に、マスク、消毒液、体温計等を持参するとともに、感染拡大を避けるため、人との距離を2m確保する、健康チェックや咳エチケットなど、避難者自身による感染症対策も実施しましょう。